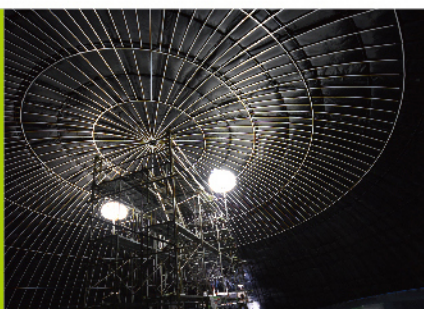


# 博物館だより 2018年 春号 *The Museum Letter*

葛飾区郷土と天文の博物館 | Katsushika City Museum

## Contents

THE PLANETARIUM  
UNDER CONSTRUCTION



平成29年度企画展  
かつしか絵図  
風土記  
— 描かれた東京低地 —

博物館  
オリジナルカレンダー



## Attention

週末は、お天気だったら  
星空散歩



平成30年2月・3月の  
「星空散歩」はお休みします

毎週金曜日、土曜日の夜に行っている  
星の観望会「かつしか星空散歩」は、  
望遠鏡の改修工事を行うため  
2月・3月中はお休みさせていただきます。  
ご不便をおかけすることをお詫びいたします。

No.

1 2 0



暗闇にそびえ立つ、なにやら  
天井から広がる白い幾何学模様…

ここは大規模改修の真っ只中にある当館のプラネタリウム  
広報担当が現場から改修の様子をレポートします!

怪しげな構造物、

内部。

改修中の  
プラネタリウム  
に潜入!!



白いスクリーンに階段と座席、という記憶の中にある  
プラネタリウムとはまるで別世界。昼間にも関わらず中  
は薄暗く、存在しないはずのフラットな空間が出現して  
いました。天井まで届く程の巨大な装置がドームの中  
心地点を軸に回転しています。奥からはかすかに聞こ  
える声と幾つかの小さなうごめく光…まるでSF映画  
のような展開。恐る恐るその先端に近づくと、その正体  
が足場で、その上に乗り込み作業している方たちだと  
わかりホッとしました。

改修はまず座席や機材を外すところから始まり、  
作業効率を上げるため仮設のフロアを設置。ドームの  
スクリーンや細かい骨組み、その奥のスピーカーを  
取り外しました。次は新しい建材で覆っていく作業。  
そこにはプラネタリウムならではの驚くべき工夫が凝  
らされていました。

スクリーンに映像を均一に反射させるため、背景は  
黒で統一する必要があります。新しく構築された鉄骨  
には黒い塗料が塗られ、その鉄骨の奥に隙間なく敷き  
詰められた遮音用のグラスウールの詰まった袋も黒色。  
表面は白いスクリーンで覆ってしまうのだから、黒で統一  
する必要がないように思われるかもしれませんが、実はスクリーンにはスピーカ  
ーの音を通す無数の小さな穴があり、向  
こう側が見えるのです。また、白いスク  
リーンを固定する際、2枚が重なる部分は  
他より白が強くないように、間に黒い  
テープを挟むというこだわりよう。最後  
は、スクリーンを固定した留め具の数ミリ  
の頭でさえも1つ1つ白く塗装していました。



改修前の  
プラネタリウム

黒いテープ

スクリーン  
パネル

そうそう、白い幾何学模様の正体は…?スクリーン  
が曲面に沿うよう位置合わせも重要なため、鉄骨の  
1本1本に両面テープを貼っておきスクリーンを仮留  
めします。そう! 両面テープの剥離紙だったのです。

リアルで美しい星空と迫力ある音響を実現するた  
めには、小さくても大  
きな意味があるこ  
だわり、そしてそれら  
を支える技術と大  
変な努力が詰まっ  
ていました。

リニューアルオー  
プンは6月。詳しくは  
ホームページなど  
お知らせしていき  
ます。生まれ変わる  
プラネタリウムに  
ご期待ください。

新しいスクリーンパネルが貼り進められた様子



スクリーンパネルが重なる  
部分に黒いテープを貼る



留め具の頭を  
白く塗装する

改修の様子はホームペー  
ジでもご紹介しています。  
ぜひご覧ください!





# かつしか絵図風土記

——描かれた東京低地——

会期 平成30年 2月6日火～3月18日

会場 2階 特別企画展示室



現代に生きる私たちは地図をはじめとして多様な手段を使って、生活する空間を認識することが出来ます。地図の登場は、明治維新以降、西洋の測量技術が導入されて以降のことで、古代以来長く絵図が用いられました。

測量地図は、一定の方式に従って、可能な限りの情報が盛り込まれますが、絵図は必要な情報しか描かれたい主題図です。絵図は、7世紀古代律令国家の成立以降、官撰・私撰の二系統で作成され、「古地図」「地絵図」ともいわれてきました。

葛飾区一带は、江戸時代初頭まで利根川の本流が南下した東京低地に位置し、近世には武蔵国葛西領、近代には東京府南葛飾郡と称されました。この展示では、多様な絵図類・地図類や浮世絵等に描かれた東京低地を紹介します。

江戸から現在へ継続してきた地域の歴史を、絵図類から読み取り、現在では大きく景観を変えたかつての姿を想い起こす機会となれば幸いです。

## I 地域を描く

近世以降に作成された官撰の国絵図のほか、江戸図・領内図等の情報から葛西領の特色を紹介します。絵図独特の表現方法から示された内容を読み取り、当時の葛飾区域の姿を考察します。

## II 村を描く

明治期以降の地図類から景観を復原する方法と活用を紹介します。江戸時代の村々が編成されていく経緯を描いた図や、大縮尺の地籍図類を使って、当時と現在の景観を比較する方法を試みます。

## III 施設を描く

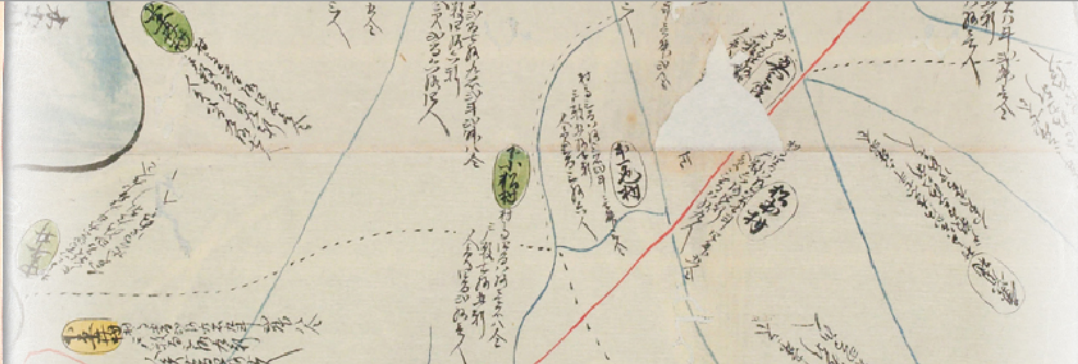
水戸道が江戸川を渡る地点に置かれた金町松戸関所の景観と河川環境の復原を、絵図・地図・地形図・空中写真などから試みます。嘉永2年(1849)小金原鹿狩りのために江戸川に架設された船橋を描いた船橋絵図を紹介します。

## IV 川を描く

区内に関する河川・用水絵図のほか、関東平野全域が描かれた大型の河川絵図を紹介し、成立の経緯を考察します。



▲東州勝月 將軍猪狩松戸駅舟橋行列之図 明治22年(1889) 当館



▲明治前期 東葛西領村々絵図 明治6～11年(1873-1878) 当館 (旧猿ヶ又村)



▲高橋松亭 あやせ川の雪 大正4年(1915) 当館

▼宝永御江戸絵図 当館



▼古利根川中川通藻苺場絵図 近世後期 個人蔵(旧砂原村)

▼東葛西領上之割用水絵図 近世中期 個人蔵(旧奥戸新田)



### 環境学講座

東日本大震災から 民間所在の歴史資料保全を考える

日常的に散逸の危機にある  
歴史資料の現状と課題をお話しします。

日時 平成30年3月11日(日曜日)午後2～4時

会場 当館講堂

講師 西村 慎太郎氏(国文学研究資料館准教授)

受講料 200円

定員 80人

申込方法 往復ハガキか電子申請。ハガキの場合は、

「環境学」住所・氏名・年齢・電話番号を  
お書きになり博物館宛お送りください。

申込締切 平成30年3月1日(木曜日)必着

区民大学認定講座のご紹介



# 博物館オリジナルカレンダー

当館のウェブサイトで、プラネタリウムでおなじみのキャラクター、「ドームくん」たちが登場するカレンダーをダウンロードできることをご存知ですか？

星空散歩※の開催日、満月などの情報も入っています。パソコンなどの壁紙や紙にプリントしてご自由にお楽しみください。

※「星空散歩」は望遠鏡の改修工事を行うため、平成30年2月・3月中はお休みします。

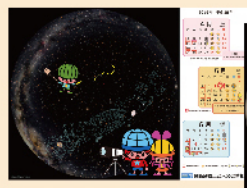


サイズは3種類

ワイドサイズ

A4サイズ

待ち受け  
サイズ



詳しくは壁紙のダウンロードページをご覧ください。▶▶▶

<http://www.museum.city.katsushika.lg.jp/publication/wallpaper/>

## 葛飾区郷土と天文の博物館ご利用案内

- 開館時間** 午前9時～午後5時  
(金・土曜日は午後9時まで開館。ただし金・土曜日が祝日の場合、午後5時に閉館。入館は閉館の30分前まで)
- 休館日** 月曜日、第2・4火曜日、12月28日～31日、1月1日・4日  
(月曜祝日は開館。火曜祝日は開館し翌平日休館)
- 入館料** 大人 100円 小・中学生 50円 幼児無料  
(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)
- プラネタリウム観覧料** 大人 350円 小・中学生 100円  
幼児(座席を使う場合) 50円  
(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)
- 年間パスポート** 大人 2,000円 中学生以下 700円  
購入から1年間、入館とプラネタリウムが見放題になる大変お得なパスポートです。購入時にご希望があれば、「博物館だより」(年3回発行)を1年間お送りします。

プラネタリウムは平成29年11月から5月末まで、天文展示室は平成30年2月から5月末まで、改修のためご利用いただけません。詳細はホームページでお知らせします。なお、改修に伴う年間パスポートの有効期間の延長はございませんのでご了承ください。

## アクセス



- 電車** 京成電鉄「お花茶屋」駅から徒歩8分  
JR常磐線「亀有」駅から徒歩25分
- バス** ① レインボーかつしか(有71・有72系統)又は京成タウンバス(有70系統)で「白鳥わかば公園」バス停下車 徒歩3分  
(有71 金町駅南口～亀有駅南口～ウェルピアかつしか)  
(有72 亀有駅南口～ウェルピアかつしか)  
(有70 金町駅南口～亀有駅南口～ウェルピアかつしか 又は タウンバス車庫)
- ② 京成タウンバス(有57系統)で「上千葉小学校」バス停下車 徒歩5分
- ③ 京成タウンバス(有57系統)で「共栄学園」バス停下車 徒歩5分  
(有57 亀有駅南口～葛飾区役所 又は タウンバス車庫)

## 博物館だより

### 発行

## 葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

電話 03-3838-1101 FAX 03-5680-0849

<http://www.museum.city.katsushika.lg.jp/>

この印刷物は、印刷用の紙にリサイクルできます。